

学校における不祥事根絶について

本校教職員は、日頃から学校教育に携わる者として、コンプライアンスを意識し、行動に責任を持ち、次の点に心を配りながら教育活動に専心しています。

- 1 服務上の課題
交通違反、わいせつ行為、セクシュアル・ハラスメント、秘密漏洩、公金管理等
- 2 教育指導上の課題
学習指導要領違反、教科書不使用、偏向教育、著作権侵害、学校事故等
- 3 生徒指導上の課題
体罰、不当な懲戒、個人情報漏洩、いじめ・不登校への不適切対応等

今後、以下のような具体的な対策の下、信頼され愛される学校作りに努めます。

1 服務上の課題

(1) 交通違反

- ・交通法規の遵守を徹底し、交通事故防止に努める。
- ・事故を起こした場合は、適切な処置、誠意ある行動を心掛け、管理職に報告する。

(2) わいせつ行為・セクシュアル・ハラスメント

- ・生徒、同僚、保護者には敬意をもって接し、思いやりある言動を心掛ける。
- ・電話、メール、SNS等による私的なやりとりはしない。
- ・『One IBARAKI』等を活用した研修を実施する。

(3) 秘密漏洩

- ・職務上知り得た情報の守秘義務を徹底し、研修等で意識の醸成に努める。

(4) 公金管理

- ・会計事務は複数の教職員で行う。
- ・会計事務処理と検査を定期的に適切に実施する。

2 教育指導上の課題

(1) 学習指導要領違反・教科書不使用・偏向教育

- ・教員間の授業相互参観を促進し、協議し助言しあえる環境を整える。
- ・各教科の年間指導計画の定期的な見直しに努める。

(2) 著作権侵害

- ・引用先の引用条件の確認を徹底する。
- ・プチ研修等により、事例等の提供を随時行う。

(3) 学校事故

- ・できる限り複数人で指導し、事故が起きた場合の報告連絡体制を整える。
- ・施設設備の定期的点検、破損箇所の修繕等を行い、安全な環境の整備に努める。

3 生徒指導上の課題

(1) 体罰・不当な懲戒

- ・職員の心身の健康維持と情報共有に努め、体罰の遠因を作らないようにする。
- ・チームで指導する雰囲気醸成し、個人に依存し過ぎない指導体制を構築する。
- ・『One IBARAKI』等を活用した研修を実施する。

(2) 個人情報漏洩

- ・個人情報を含むものは原則持ち出しをしない。
- ・電子媒体での送信は、送信前にアドレス、添付ファイルを複数名で確認する。
- ・複数人にメールを送る場合には、BCCを使って行う。

(3) いじめ・不登校への不適切対応

- ・情報の収集と共有できる場や機会を設定し、問題の未然防止に努める。
- ・生徒や保護者が相談しやすい環境を整え、必要に応じて外部機関との連携を図る。